

ジュニア生物調査隊 実施内容報告書

タイトル：観音崎自然博物館 ジュニア生物調査隊の活動 交付番号 19007

観音崎自然博物館 佐野 真吾

<内 容>

2019 年 4 月 14 日から 2020 年 3 月 1 日までに、全 12 回の活動をおこなった。なお、第

7 回の「フィールド訪問 in 鎌倉」のみ雨天のため中止とした。

<活動の詳細>第

1 回 始動式

2019 年 4 月 14 日 9:30～12:00

年度始まりの活動であるため、隊員の自己紹介や今後の活動について、活動に必要な道具の紹介等をおこなった。後半は観音崎自然博物館の前にある「たたら浜」で、絶滅危惧種カタモンハネカクシの調査をおこなった。カタモンハネカクシは、3 個体確認することができた。



第 2 回 みんなで掘った池にサンショウウオは産卵したか？～希少種の保全と調査～

2019 年 5 月 26 日 9:30～15:30

2018 年度 2 月にトウキョウサンショウウオの生息地に赴き、子どもたちは本種が産卵するための池を造成した。

今回は、2 月に造成した池に本種が産卵しているかを確認する調査をおこなった。結果、造成した池で 168 個体、沢 A で 22 個体、沢 B で 9 個体の合計 199 個体の幼生を確認することができた。また、絶滅危惧種のサラサヤンマも確認した。また、トウキョウサンショウウオの DNA サンプルを採集するため、尾部を切り、エタノールに漬ける作業の体験もした。



第 3 回 フィールド訪問 in 侍従川

2019 年 6 月 2 日 9:30～13:30

共催：ふるさと侍従川に親しむ会・二ツ池プロジェクト

当企画は、神奈川県東部で子どもと自然を中心に活動をしているグループを中心に、合同調査やフィールド訪問をおこない、交流や他地域の自然を認識し合うことを目的としている。

今回は、横浜市金沢区で活動する市民団体「ふるさと侍従川に親しむ会」および同市鶴見区で活動する「二ツ池プロジェクト（2018 年度に訪問）」と、3 団体合同で活動をおこなった。フィールドはふるさと侍従川に親しむ会のホームである侍従川でおこない、調査中に採集された生物は、ふるさと侍従川に親しむ会の子どもたちに解説をしていただいた。



第 4 回 観音崎の水辺徹底調査 その 1 ～淡水編～

2019 年 7 月 21 日 9:30～15:30

観音崎自然博物館のホームである「観音崎公園」で、淡水域を中心に生物調査をおこなった。採集した生物は、発表に向けての標本づくりで用いるため、酢酸エチルおよびエタノールで保管した。



夏合宿下見 in 愛川（スタッフ研修）

2019 年 8 月 3 日

スタッフ 6 名、職員 2 名で夏合宿の活動場所となる神奈川県愛川町の中津川の下見をおこなった。また、ライフジャケットおよびスローバッグを用いた川での安全講習をおこなった。安全講習には講師を招き、実技研修をおこなった。



第 5 回 夏合宿 in 愛川

2019 年 8 月 20～21 日

ジュニア生物調査隊は、普段は神奈川県東部を中心に活動をおこなっているため、夏合宿では、県東部では見られない環境での体験および調査を目的とし、神奈川県愛川町を流れる中津川をフィールドとした。

当合宿では、大河川での採集をおこなうため、初日は安全講習をおこない、ライフジャケットおよびスローバッグを用いた救助の方法を学び、翌日から本格的な採集・調査をおこなった。また、夜間はブラックライトを用いたライトトラップや夜間採集もおこなった。中津川では、絶滅危惧種のアカハライモリの生息と繁殖を確認した。夜間調査では、ミヤマクワガタやゴホンダイコクコガネなどを確認した。



第 6 回 全国トンボ・市民サミット 横浜大会への参加

2019 年 9 月 8 日 9:30～15:00

全国トンボ・市民サミット横浜大会の子ども分科会で口頭発表をおこない、ディベートにも参加した。また、団体訪問で合同調査をおこなっている「ふるさと侍従川に親しむ会」、「ニツ池プロジェクト」「地球の学校 海の子森の子クラブ」との交流もおこなった。



第 7 回 フィールド訪問 in 鎌倉

2019 年 9 月 22 日

共催：「地球の学校 海の子森の子クラブ」「ふるさと侍従川に親しむ会」、「ニツ池プロジェクト」

「地球の学校 海の子森の子クラブ」がフィールドとしている鎌倉市滑川を訪問する予定であったが、雨天につき中止になった。

第 8 回 観音崎の水辺徹底調査 その 2 ～海辺編～

2019 年 10 月 20 日 9:30～15:30

観音崎自然博物館のホームである「観音崎公園」で、海辺に生息する海浜性昆虫を中心に調査をおこなった。採集した生物は、発表に向けての標本づくりで用いるため、酢酸エチルおよびエタノールで保管した。



第 9 回、10 回 発表準備

2019 年 11 月 17 日、12 月 1 日 9:30～12:00

2019 年度の活動発表は、観音崎自然博物館内で企画展示をおこなった。そのため、企画展示に向けての 2 回の発表準備では、ジュニア生物調査隊の活動報告および個人が活動外におこなった調査報告の準備をおこなった。ジュニア生物調査隊の活動報告は、これまでの活動を模造紙やパネル、映像でまとめた他、第 4 回と第 8 回の「観音崎の水辺徹底調査」で採集・保管していた生物を標本にする作業をおこなった。なお、今回はボランティアスタッフも展示をおこない、活動中に起きたエピソードを画用紙にまとめた。





第 11 回 4 団体交流会・発表会 2020 年 1 月 5 日

4 団体交流 9:30～12:00

これまで、「フィールド訪問」でお世話になってきた「ふるさと侍従川に親しむ会」、「二ツ池プロジェクト」、「地球の学校 海の子森の子」、「ジュニア生物調査隊」の 4 団体で合同交流会をおこなった。観音崎自然博物館に集合し、フィールドは観音崎公園とした。内容は、最初に 4 団体の子どもたちを混ぜた状態からネイチャーゲームでグループ分けをし、各グループで公園内に行き、見つけた自然資料を採集し、最後にグループで見つけたものを発表するというものである。ヒナカマキリの卵鞘、ヒメゲンゴロウ、ヤマアカガエル等が見られた。また、各団体の子どもたちが混ざること、団体間の交流ができた。



発表会 13:00～15:00

隊員のご家族に向けて、ジュニア生物調査隊の 1 年間の活動報告と来年度の予定と方針の発表をおこなった。また、企画展示の公開もおこなった。なお、企画展示はその後、3 月 1 日まで館内で公開した。企画展示を見て、2020 年度の隊員募集に応募いただいた方も多く、一定の効果が得られた。



第 12 回 最後のフィールドワーク～トウキョウサンショウウオの保全と調査～ 2020 年 3 月 7 日

2019 年度最後の活動である。当活動では、トウキョウサンショウウオの生息地に産卵場となる池を掘りに行った。1 か所は元ある池を拡大し、もう 1 か所は新規で池を造成した。当活動は、来年度の活動に継続しており、2020 年 5 月に産卵の確認と幼生の個体数カウントをおこなう予定である。

